

東大和



市議会 だより

発行：東大和市議会
編集：広報委員会

〒207-8585 東大和市中央3-930
TEL 042(563)2111 FAX 042(563)5926
E-mail : gikai@city.higashiyamato.lg.jp

292

もくじ

- ページ
- 2 市長施政方針に対する代表質問
 - 3 3月議会の議題から
 - 4 令和7年度予算案に対する討論①
 - 5 令和7年度予算案に対する討論②
 - topicsあれこれ
 - 6 市政を聞く① 【蜂須賀・高峰・床鍋・関】
 - 7 市政を聞く②
【木戸岡・佐竹・中間・荒幡・森田・大川】
 - 8 市政を聞く③
【木下・金井・尾崎・上林・押本・石田】
 - 9 陳情の要旨／委員会での議論①
 - 10 委員会での議論②／一部事務組合議会報告①
 - 11 一部事務組合議会報告②／協議会報告
議長が出席した会議／監査委員の活動内容
 - 12 議案等の結果／閉会中に行われた会議ほか

3月議会の日程

2月20日	開会、市長施政方針表明、議案等審議など
21日	議案等審議
26日	議会運営委員会 市長施政方針に対する代表質問
27日	一般質問
28日	一般質問
3月 3日	一般質問
4日	議会運営委員会 一般質問
7日	総務委員会 議会運営委員会
10日	厚生文教委員会
11日	建設環境委員会
13日	予算特別委員会
14日	予算特別委員会
17日	予算特別委員会
18日	議会運営委員会
21日	追加議案審議、常任委員会審査報告、議員提出議案審議など、閉会

今号の主な内容

令和7年度市長施政方針に対し
6会派・無所属3名が代表質問
21 ページ

令和6年度一般会計補正予算(第5号)の
専決処分を承認
31 ページ

令和6年度一般会計補正予算
(第6号、第7号)を可決
31 ページ

令和7年度一般会計補正予算
(第1号)を可決
31 ページ

東大和市印鑑条例の
一部を改正する条例を可決
31 ページ

教育委員会教育長に
岡田博史氏を任命することに同意
31 ページ

教育委員会委員に
石井和光氏を任命することに同意
31 ページ

令和7年度予算を可決
4・5 6会派・無所属3名が予算案に対して討論
4・5 ページ

一般質問 16名の議員が市政を聞く
6・7・8 ページ



街の
ひとコマ

「球児とツツジ」

撮影：横堀秀則さん
(狭山在住)
撮影場所：狭山公民館

次号8月1日発行の市議会だよりの表紙を飾る写真を募集しています。(写真は横構図のものをご提出願います)
詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。☎042-563-2111 (内線2002)

共につくる東大和を代表し、一般会計、国保、介護、後期高齢者医療の各特別会計、下水道事業予算に対する反対討論を行う。

令和6年度3学期からの学校給食無償化を歓迎するが、自治体間競争のためではなく子どもの権利や市民の求めによるものだ。

七小・九小の統廃合予算が計上。公共施設の2割削減・財政縮減のために学校を減らすものだ。約57億円の公共施設等整備基金も活用しての更新を強く求める。

狹山緑地フィールドアスレチック改修予算約2億円計上。4か月で予算が8億円から27億円に増加したが住民に知らされていない。市は見直すと答弁。予算に計上せず市民の声を聴き、見直すべきだ。

入補助制度の創設④保育園等での副食費無料化⑤小中学校全ての女子トイレ個室への生理用品の配置⑥太陽光発電設置補助制度の創設⑦ちよこバス運賃を100円に戻しシルバーパスを適用⑧PFA'S血液検査補助費創設等を行う予算組替提案を行つた。実現を強く求める下水道施設の維持更新等、全てを使用料収入で賄えれば値上げは避けられない。市は令和10年度の値上げに向け検討を始めるが、値下げの検討を行うことを求める。

療費助成では所得制限撤廃、自己負担額を全額助成。また、学校給食費無償化を実施。これらは、教育環境の充実のみならず、子育て支援の大きな柱として歓迎する。

胃がん検診での内視鏡検査の導入や小児インフルエンザワクチン、帯状疱疹ワクチン接種費用の助成を通じて市民の健康増進を支援する施策が盛り込まれている。

地域公共交通計画の策定は、市民の移動手段の確保という観点からも極めて重要な意義を持つ。

として、市報のリニューアルや全戸配付、公共施設再配置計画の策定が含まれている。行政サービスの最適化と効率的な運営を進めための取組が充実している。

しかしながら、長期的な財政運営において、持続可能な財源確保が不可欠だ。公共施設の再配置計画は、市民生活の向上を目指す一方で、不公平な施設の統廃合が行われないよう議論が必要だ。デジタル化の推進に関する実際に市民の利便性向上につながり活用されることが重要だ。デジタル弱者のサポート体制の充実も必要だ。

今後、これらの課題について引き続き議論し、市民にとって最善の形での予算執行を期待する。

7年度東大和市一般会計予算及び
3特別会計予算並びに下水道事業
会計予算に、賛成の立場で討論を行ふ。
「子ども・子育て支援施策の推進」として、移動教室の小学校全
校実施に係る経費や校務ネット
ワークシステム、GIGAスクー
ル端末等の更新に係る経費、そし
て学校給食費無償化に係る経費
「健康・高齢者施策の推進」とし
て、胃がん検診における内視鏡検
査の導入に係る経費や小児インフ
ルエンザワクチン接種費用の助成
に係る経費。「都市の価値を高め
る施策の推進」として、立地適正化
計画策定に係る経費や地域公共交通
交通計画策定に係る経費、感震ブ

レーカー購入費補助金、そして桜の回廊に係る経費、「持続可能な行政運営等の推進」として、市報のリニューアルに係る経費や施設予約システムの更新、施設使用料キャッシュレス決済に係る経費など、これらは全て持続可能な市政の実現に向けた未来につながる市政のための施策であると認められるところであり、評価する。

未来につながる市政の実現へ、未来を見据え、将来的に市が得られるであろう利益の価値を見極める、未来につながる市政の実現に向けて土台づくりを行う、今現在の効果だけでなく、将来の効果に結びつかず、「これらを踏まえた「和地市長らしさ」を感じられる予算と今後に期待する。

令和7年度5会計予算を可決 6会派・無所属3名 予算案に対する討論

令和7年度一般会計・国民健康保険事業特別会計・介護保険事業特別会計・後期高齢者医療特別会計・下水道事業会計予算案は、予算特別委員会で3日間審査したのち、21日の本会議にて採決を行い、いずれも賛成多数で、原案どおり可決しました。

採決に先立ち6会派の代表者と無所属議員3名が、予算案に対し討論を行いましたので、その要旨を掲載します。



【予算特別委員会】

(開催日) 3月13日・14日・17日
(委員長) 蜂須賀千雅
(副委員長) 石田昭太朗

公明党を代表し、令和7年度東大和市一般会計予算及び3特別会計予算並びに下水道事業会計予算に賛成の立場で討論を行う。

令和7年度一般会計予算は、過去最大規模となつた。学校給食費無償化、子ども医療費の完全無償化等が要因だが、これらは国や都の動向を見極め、市長の決断で実行されたもので、高く評価する。

市報のリニューアル、全戸配付を実施することになった。市民が楽しみに思えるような市報の作成が進むことを高く評価する。

こども家庭センターを設置するに当たり、様々な子育て支援策が拡充されることを高く評価する。

「リ推進条例」に基づく計画策定を目指し、魅力あふれるまちづくりが進むことを期待する。

狹山緑地フィールドアスレチック改修では、Park-PFI等の手法を活用し、市立郷土博物館と一体的な整備を図り、魅力的な都市公園整備が進むことを期待する。

オンライン英会話レッスンは市独自施策として大きな実績を上げており、世界へ羽ばたく人材が数多く育つしていくことを期待する。

市長は、市民や議会との対話の中であるべき行政の姿を思い描き、施策の推進を図ろうとされている。予算執行においても市民の幸福の最大化を図るべく、市政運営がな

やまとみどりを代表し、令和年度東大和市一般会計予算及び特別会計予算並びに下水道事業計予算に賛成の立場で討論を行った。歳入では、我々やまとみどりは、数年前より条例改正を提案した。大企業からの利益を、市へのサービスに全額使用される重要な独自財源となる道路占用料改正の決断、予算化を評価する。歳出では、デジタル行政推進多くの予算を計上。予算策定について、見積りが妥当か判断するには、取引相手と同等以上の知識が必要だ。金額の精査を要望するふるさと納税について、何でも無駄な税制をいつまでこのまゝにしておくのか。市長こは市長

するようお願いする。
かるがも一時保育などが廃止され、代替策として、ベビーシッター利用支援事業やショートーステイ事業委託料の増加が図られる。これらは当然必要だが、より子育て世代にとって使い勝手のよいサービスの向上を要望する。
やまとみどりが取り組んできた飼い主のいない猫対策は、地域猫と地域ボランティアへの理解が市民に浸透しつつある。市の積極的な施策と支援を期待する。
旧日立航空機変電所については、その維持管理について寄附金を活用するとのことだが、より多くの注目とともに寄附が集まるよう、世界中でこの戦災変電所の重要性

大きな財政負担を伴う事業計画は

自転車操業方に
自由民主党 押本

令和7年度東大和市一般会計予算及び3特別会計予算並びに下水道事業会計予算に賛成の立場で討論を行う。

狹山緑地フィールドアスレチック改修事業は、都内最長のローラースライダー設置の是非が焦点であつたと言つても過言ではない。私は、過去の定例会で、ローラースライダーの危険性等について他市等の事故例を挙げ、警鐘を鳴らした。当事業の成否は、和地市政にとって重要な多額の予算が計上されているが、市としてのビジョンが曖昧になつているとも抨察する。当事業は、このエリア単独ではなく、市全体や、周辺地区を含めた広域でこのエリアをどう考えていくかが必要な視点だ。率直

に言つて、このエリアで多くの集客を目的とする観光開発は困難だ。当市におけるにぎわい創出は、東大和市駅、上北台駅周辺などにおいて求められるべきで、当事業のエリアは、東大和市都市マスター プランでみどりのゾーンと示されるように、プレー・パーク、市民農園、地区図書館など、市民の健康増進、市北部の社会教育推進につながる施設を配備すべきだ。これらが、令和7年度予算説明にあつたように当予算が何より市民の福祉の向上に寄与する視点を実現する一つとなる。こうした施策の維持発展が結果的にこのエリアのにぎわい創出につながると考える。

令和7年度東大和市一般会計予算及び3特別会計予算並びに下水道事業会計予算に賛成の立場で討論を行う。

令和7年度予算は、校務用ネットワーク等の費用がかさみ、近年にない厳しいものになった。子どもの医療費や給食費の無償化など市の財政負担が前提の取組が脚光を浴び、これが自治体間競争の最前線となつてているとのことである。人口減少が進み、限られた職員体制での運営が求められる中、デジタル化について、さらなる職員の意識改革と業務改革を期待する。

令和7年4月の組織改正は、部の統合による連携強化と、ヒト・カネ・情報の集約を進めて、様々課題を解決することを期待する。

今後も厳しい財政状況が見込まれる中、持続可能な行財政運営を望む。情報公開は、魅力ある読みやすい市報を目指し、積極的、効果的な広報広聴を進め、市民に分かりやすい市政運営を求める。

高齢化は今後、医療や介護の需要の急増、社会保障費の増大など社会に大きな影響を与える。将来的な市税収入の減少や扶助費増大に結びつくことへの意識が必要だ。厳しい財政状況が見込まれる中時代の変化に対応できる財政運営を望む。その上で、前例にとらわれず、物事の本質に勇気を持つて向き合い、東大和市の未来につながる市政運営を目指してほしい。

The image shows a blue rectangular banner. On the left side, there is white text in Japanese: '東京都議会議員研修会に出席しました' (Attendance at the Tokyo Metropolitan Assembly Member Seminar). To the right of this text is a large, semi-transparent watermark-like graphic. It features the word 'topics' in a white, lowercase, sans-serif font. Below it, the words 'あれこれ' are written in a larger, stylized, blue font with a drop shadow effect.

市民の健康増進・社会教育推進

自由民主党を代表し、令和7年度東大和市一般会計予算及び3特別会計予算並びに下水道事業会計予算に、賛成の立場で討論を行う。市長の「市財政は自転車操業である」との発言は、会社で例えると、倒産しないよう必死にやりくりしているさまだ。市長は、市の現状を倒産寸前の会社に例え、我々に理解を求めた。歴代市長はどんなに大変なときでも、市を倒産寸前の会社に例えることはなかつた。それだけに、今回の市長の勇気ある発言は大きな意味がある。改めて現状を認識する必要がある。

過去にも、年度途中で金額の大きな補正予算で対応してきた事業は幾つもあった。当時から補正予算を使った手法で何とかやりくり

東大和市では、大きな予算が伴う事業が今後予定されている。目の前の大きな財政負担を伴う計画は、もちろん重要な計画としてこれまで進めてきたこととの認識だが、一旦白紙にして、肩の荷を下ろしてはいかがか。

予算案には賛成だが、そのとおり全て執行しろという意味ではない。ここでの無理は、30年後、50年後の「ありがとう」には決してつながらない。和地市長の市政運営は、前体制が先送りしてきた諸課題を解消しつつ、新たな課題に取り組まなくてはならない状況だ。市長の英断で、東大和市財政が自転車操業から脱却するスタートの年にすることに期待する。

令和7年度東大和市一般会計予算及び3特別会計予算並びに下水道事業会計予算に賛成の立場で討論を行う。

狹山緑地フィールドアスレチック改修は事業費27億円の詳細不明のまま計上。市民を置き去りで進めず、きちんと説明した上で市民の声を聞き、ローラースライダーの可否も含め検討を強く求める。

職員の地域手当の支給割合は人事院勧告により当市は16%となるが、令和7年度12%で支給とのこと。規定までの引上げを求める。

かるがもひろば・一時保育室が廃止され、民間保育園の子育てひろば連絡会を新たに実施とのことだが、子育て親子を支える市内のひろばや一時預かりを整えること

を求める。保護者の感じる子育ての負担が増している。ハイリスクへの支援や予防だけでなく、つながりを持つる親子全体を受け止めるような取組の強化も求める。

学校給食は子どもたちにとっておいしい楽しい給食とすることそのため会食のときの制限や短い食事時間の改善を求める。

介護保険料は他市と比べ低いことだが、利用したいが制限があるとも聞く。次期計画策定にあたり、必要なサービス量などきちんととした調査と把握を求める。

時代の変化を追い求めず、幸せに暮らせる社会からの視点を持った真の住民福祉向上の取組を求める

既した施設の設置を望む 無所属 高峰 章

未来につながる市政の実現を
無所属 大川元

につながる市政の実現を 無所属 大川 元

狹山緑地改修事業は市民に説明を
眞に住民福祉が向上する取組を求める
無所属 関 綾子

東京都議会議員研修会 に出席しました

topics

「会運営の課題」と題した講演を受講しました。

令和7年度会計別予算額

〈一般会計及び特別会計〉

会計名	令和7年度	令和6年度	増減額	増減率
一般会計	37,620,000	34,829,000	2,791,000	8.0
国民健康保険事業特別会計	8,329,457	8,599,719	△ 270,262	△ 3.1
介護保険事業特別会計	8,301,058	7,925,171	375,887	4.7
後期高齢者医療特別会計	2,721,469	2,624,155	97,314	3.7
合計	56,971,984	53,978,045	2,993,939	5.5

〈公営企業会計〉		(単位:千円、%)		
会計名	令和7年度	令和6年度	増減額	増減率
下水道事業 合計	収入予算額	3,636,323	2,505,713	1,130,610
				45.1



給食の一例

問	子どもの居場所づくり・一般向け 給食試食・部長級職員募集
答	子どもの居場所について新しい展開の検討は。
要望	近隣市では学習室を開放している公民館の事例もある。空き部屋の活用について慎重に検討する。公民館や地区集会所における既存の地域資源を改めて精査して、子ども達にとって安全・安心な居場所づくりを求める。
	一般向け学校給食センター見

問 一般任期付き職員（部長職）募集の期待する効果と今後は。
答 他自治体での経験豊かな方が来ることで、既存職員とよい化学反応を起こし、新しい風を利用し活性化する効果を期待している。



藏敷公民館図書室

問 「さらに豊かな東大和市、ずっと住み続けたい東大和市」を目指す

東京都が考える「小・中学校の給食費無償化」の意義を、市はどうのように把握しているか伺う。

答 子育て世帯の経済的負担を解消するため、財政支援を積極的に行っているものと認識している。

要望 令和8年度4月から、全国の小学校で給食費無償化が行われることと決定した。当市の中学校において、東京都の補助制度を活

問 「旧日立航空機株式会社変電所基本方針」において、滅失した場合、原形保存が優先という理解でよいのか伺う。

答 あくまでも現在ある変電所の原形保存を優先する趣旨である。要望 ノートルダム大聖堂の修復に、3D映像が役立つたとのことである。参考にしてほしい。



問	遊び、子育てを支える取組は今、社会だからこそ必要な子どもや
答	子ども家庭センターとして子育て親子全体を支えるため、専門職を交えた集いの場ができるないかと相談。現在は双子や発達等に不安がある親子を対象に交流や専門職へ相談ができる座談会を実施。誰でも参加できる形でも実施を検討。
問	権利擁護の機関である子どもオンブズマンを設置できないかと都の権利擁護専門相談があり

築にも寄与するなど必要性はある
問 当市で継続的に実施するため
火が使え、周囲の理解を得られる
場所の検討について、課題を伺う
答 火の使用は、火災のリスク
臭いや煙、他の公園利用者の安全
確保等が課題。慎重な検討が必要
要 遊び場の必要性を認識し
市も関わり整備してほしい。

市政を聞く

3月議会 一般質問要旨

掲載は発言順

各議員が取り上げたテーマ

- 自 蜂須賀 千 雅**
学校給食センター見学試食会／一般任期付職員（部長級）募集他

無 高 峰 章
小・中学校給食費無償化／公民館図書室／東大和市行政コーナー他

や 床 鍋 義 博
下水道事業について／体育施設の活用について

無 関 綾 子
子ども子育て支援／子育てひろばプレーパークの実施他

公 木戸岡 秀 彦
駅周辺活性化／防犯カメラ等増設生活道路の安全対策他

公 佐 竹 康 彦
東大和市駅前周辺のまちづくり／市内の無電柱化事業の推進他

公 中 間 建 二
避難所の生活環境改善／魅力的な公園整備／地域交通充実他

公 荒 幡 伸 一
高齢者の生活の質向上／献血推進安心して学校生活を送る支援他

自新 森 田 博 之
うまかんべえ～祭の今後の在り方第一小学校の二宮金次郎像修復

無 大 川 元
都営向原団地南側都有地／市立第七、第九小学校総合会館

↑
6ページ
↓

↑
7ページ
↓





会派等略称 公 公明党 自新 自由民主党新政会 や やまとみどり
立 國民クラブ 白 自由民主党 黒 井につくる東大和 空 無所属

下水道の管理と危険箇所の対応 体育施設の利用について

埼玉県八潮市の道路陥没事故を受けて東京都からの情報提供や具体的な指示などはあったのか。答　国土交通省から、流域下水道管理者である東京都に対し、緊急点検の要請があった。市が管理する下水道については点検対象外だったが、日頃から職員や委託業者による巡視、点検を行い、マンホール周辺の道路や下水管の異

問 部活動の地域移行に伴い、その協力団体などは、体育館等の使用について部活動と同様に扱うべきではないか。

答 協力団体等の意向も丁寧に伺いながら、場所の調整と確保に努めていきたい。

問 冬場の屋外の体育施設の時間延長や照明設置などの要望が市民から上がっているが、市の対応は

答 時間枠の拡大や照明設備など全体的な部分を整理して検討する





問 地域防災計画では、2030年度までに人的・物的被害をおおむね半減を目指し、事業の推進を図っているが、住宅の耐震化の達成見込みについて伺う。

答 令和8年度末までに耐震性が不十分な住宅を概ね解消することに関する普及啓発に努めている。耐震化が進まない一因が災害

問 市民プールに関する市民からの要望

答 年額報酬で手当としている。2021年に出動報酬の遇改善とともに引き下げた年額報酬について、時代の背景を鑑み、改善の余地はあると考える。

防災力の高度化について伺う

金井 康哲
やまとみどり



市民プール

問 児童・生徒の保護者から水泳授業に関する質問等はあるのか。

答 東大和市公立小中学校PTA連合協議会からの質問の中で、最近のプールの授業が暑さのせいで中止になることが増えてきているため、市で屋内プール施設を作り、水泳授業ができるといった意見があつた。

問 市民プールに関する市民からの要望

答 近年のものでは市民プールの建設、建て替え、屋内プールの建設、また現在の市民プールの設備の、故障しているロッカーが多い点、滑り止めの摩耗、放送設備の故障等に対する意見、要望があつた。

要望 公共施設再配置計画においてプールについても検討中であると思うが、老朽化のスピードを考えると、待ったなしの状況である。

答 対処法としては、市内すべての学

校プールと市民プールを廃止し、統合するという、屋内型の仮称セントラルプール構想として「セン

トランプール」を設置し、学校水

泳授業と市民利用を両立させるし

かないと考える。持続可能なプ

ール施設実現を強く要望する。

東大和市のプールについて

木下 富雄
(自由民主党
新政会)



下水道使用料大幅値上げは中止を

尾崎 利一
(共につくる
東大和)



問 補聴器購入補助制度創設についての取組と検討状況を伺う。

答 令和7年度、国立市は補聴器購入補助で200万円、総額258万円の予算である。158万円の都補助を見込み、市の一般財源は100万円だ。

問 町田市は購入補助900万円で総額944万円の予算を組み、その全てが国と東京都の財源で、市の一般財



答 源はゼロだ。東大和市でも大きな財政負担なしで可能ではないか。市の財政負担は町田市など建て替え、屋内プールの建設、また現在の市民プールの設備の、故障しているロッカーが多い点、滑り止めの摩耗、放送設備の故障等に対する意見、要望があつた。

要望 公共施設再配置計画においてプールについても検討中であると思うが、老朽化のスピードを考えると、待ったなしの状況である。

答 対処法としては、市内すべての学校プールと市民プールを廃止し、統合するという、屋内型の仮称セントラルプール構想として「セン

トランプール」を設置し、学校水泳授業と市民利用を両立させるし

かないと考える。持続可能なプ

ール施設実現を強く要望する。

問 ランドセル来館による過度な子どもたちの増加が児童館業務の大きな課題となっているが認識はある。

答 安全対策の強化が課題である。昨今の混雑ぶりには、遊びに来たけど好きな遊びが出来ずに帰宅する子もいると聞く。ランドセル来館は学童保育所に入所出来なかつた子どもたちの一時待機場所とするべきと考えるがいかがか。

問 学童保育所及びランドセル来館の現状と今後の喜多方市との交流

答 放課後の児童の居場所について今後検討する必要がある。

答 学童保育所の現場からは人手不足との声があり、指導員が自ら人集めをしていると聞いているが、委託事業者のホームページで随時募集しているが、近年は日々事業所で人手不足の状況である。

要望 欠員補充は市内各学童保育所間の調整と、休日中の指導員を出勤させてやり繰りしていると聞いています。また、市への報告書にはマイナス案件は書くなど指示が出勤させてやり繰りしていると聞いています。改めて確認を求める。

答 今後の喜多方市との交流について、市側が積極的に市民をお連れするような考えはないのか。

答 市民の皆様に日中線しだれ桜並木を見る機会を設ける予定。

答 市民の把握は困難としている。

答 市民の不安に寄り添つた対応を求める。



第一中学校のサポートルーム

問 ことども誰でも通園制度／不登校支援拡充／PFAS検査補助

上林真佐恵
(共につくる
東大和)



答 誰でも通園制度の目的は、全ての子どもの育ちを応援し、良質な成育環境を整備することだ。

要望 通知や避難所の整備を進めていく。

答 在宅避難を行えるよう備蓄の

要望 個人の状況に応じた伴走型

答 職員配置と面積基準は保育園等と同基準だが、従事者の半数以上は保育士が半数では安全性・専門性から不充分だ。全て有資格者とするよう国に対し求めてほし

要望 保育士が多めで安全性・専門性から不充分だ。全て有資格者が指導員数等に応じて受け入れている。

要望 市民が血液中のPFAS濃度を検査する際の補助を行えないか。

答 受皿の確保と共に少人数学級の推進など努力してほしい。

要望 市民が血液検査のみで健康影響の把握は困難としている。

要望 市民の不安に寄り添つた対



広告付き庁舎案内板

問 広告掲載による市有財産の利活用について

石田昭太郎
立憲国 民朗
クラブ



答 広告掲載による歳入確保に対する方針を伺う。

答 東大和市第6次行政改革大綱において、有料広告等の拡大を図り、自主財源を確保していくことを定めている。

答 市長に就任以来、職員へ自主財源確保について指示し、体育施設等への新たなネーミングライツ

要望 パートナーとの協定締結へ向け協議を進めている。また、本庁舎のトイレへ広告を掲載し、広告料の代わりにトイレットペーパーの現物支給を受けることで歳出削減につながる取組も予定している。

答 今後の課題は、

答 市への広告掲載の価値を高めることが必要。民間事業者の二

要望 事業提案するなど、職員が歳入確保を自分事として捉え、自ら行動できるよう意識改革が重要だ。

要望 広告掲載の価値を高めるということは、市の魅力を高めるということ。特定の部署や職員だけではなく、市民や民間事業者を巻き込みながら進め、自主財源の確保として広告掲載につなげてほしい。



問 ランドセル来館による過度な子どもたちの増加が児童館業務の大きな課題となっているが認識はある。

答 安全対策の強化が課題である。昨今の混雑ぶりには、遊びに来たけど好きな遊びが出来ずに帰宅する子もいると聞く。ランドセル来館は学童保育所に入所出来なかつた子どもたちの一時待機場所とするべきと考えるがいかがか。

答 放課後の児童の居場所について今後検討する必要がある。

答 学童保育所の現場からは人手

要望 不足との声があり、指導員が自ら人集めをしていると聞いているが、委託事業者のホームページで

答 隨時募集しているが、近年は日々

答 事業所で人手不足の状況である。

要望 欠員補充は市内各学童保育

答 所間の調整と、休日中の指導員を出勤させてやり繰りしていると聞いている。また、市への報告書にはマイナス案件は書くなど指示が出勤させてやり繰りしていると聞いています。改めて確認を求める。

答 今後の喜多方市との交流について、市側が積極的に市民をお連れするような考えはないのか。

答 市民の皆様に日中線しだれ桜並木を見る機会を設ける予定。

答 市民の把握は困難としている。

答 市民の不安に寄り添つた対

学童保育所及びランドセル来館の現状と今後の喜多方市との交流

押本 修
(自由民主党)



本会議、委員会（3常任委員会、議会運営委員会、予算・決算特別委員会）につきましては、インターネット映像配信（ライブ及び録画）を視聴できます。（録画内容は概ね過去1年分が視聴できます。）なお、録画につきましては、ライブ配信の約1週間後から視聴できます。市公式ホームページ（右記の二次元コードからアクセス可）から視聴したい動画を選択し、ご覧ください。



陳情の要旨

※件名の番号と各委員会における審査結果の番号は符合しています。

(1) 東大和市の小中学校に情緒固定級の設置に関する陳情

▼陳情者▲
(陳情者の氏名等は、希望により非公開)

▼要旨▲
東大和市の小中学校に情緒固定級の設置を進めてください。

委員会での議論



(所管事務調査報告)
これからの50年、未来につながる施策（公共施設・スマートシティ・人材育成）

(調査期間)
令和5年6月26日から令和7年1月24日まで

(調査のまとめ)(要旨)
東大和市では、公共施設の老朽化が深刻化する中、小学校の統合計画を進めるなど、限られた財源の中で持続可能な施設運営を目指して取り組みを行っています。しかし、老朽化の問題は学校施設に留まらず、今後、他の公共施設にも広がることが予想され、抜本的な対策が必要です。

また、現在市が進めているDX化（デジタルトランスフォーメーション）は、行政手続きの効率化や市民の利便性向上に寄与していますが、未来を見据えた際には、さらに進化した「スマートシティ」が求められる可能性があります。スマートシティ化は、都市全施設の最適化、スマートシティ化に向けた取り組み、人材育成の方

議案、請願、陳情などの審査案件は、ありませんでした。また、「市の防災及び防犯対策のうち総務部の所管に関する」として、令和6年12月から令和7年2月までの災害対応等について、総務部から報告を受け、質疑を行いました。

策について、先進的な事例を学びながら、東大和市が未来に向けた持続可能な自治体運営を実現するための道筋を明らかにすることを目指します。

2 東大和市の現状と課題

(1) 公共施設について

第七小学校と第九小学校の統合による新校開設準備中ほか
・部局横断的な再配置を検討するため、「東大和市公共施設再配置計画策定支援業務」を委託し、課題の再把握と全市的な検討を進行中

(2) スマートシティについて

・令和8年6月までに「東大和市公共施設再配置計画」を策定予定ほか
・横断的検討体制
・学校を含む市全体の公共施設を対象に一體的な再編を進める。
ほか
・財政の課題
・建築資材の価格高騰や維持更新に係る財政負担増大
・老朽化問題
・多くの公共施設が老朽化しており、持続可能な維持管理が困難
・複数部局間の協力をスムーズに進めるための体制整備が必要
まとめ

東大和市は、公共施設再編において先進的な取り組みを進めており、横断的な検討体制を整備しながら包括的な計画策定を目指しています。しかし、財政面の制約や老朽化した施設の増加により、多くの課題に直面しています。令和8年までの計画策定を通じて、持続可能な公共施設運営モデルの構築が期待されます。

(3) 人材育成について

・令和6年2月の策定から令和8年度末(令和9年3月)まで

・リーディングプロジェクト
・デジタルデバイド対策ほか
・研修制度の充実、職場環境の整備

の3本柱で人材育成を推進ほか

・市民ニーズの多様化・複雑化に対応するため、職員の能力と意欲を最大限引き出す。ほか

・働き方改革推進事業
・民間企業への職員派遣ほか

・計画的な人材育成により職員のモチベーション向上ほか

・主な取組
・働き方改革推進事業
・民間企業への職員派遣ほか

・期待される効果
・計画的な人材育成により職員のモチベーション向上ほか

・主な取組
・働き方改革推進事業
・民間企業への職員派遣ほか

閉会中に行われた会議

<1月>
16日 ○広報委員会
21日 ○厚生文教委員会
24日 ○総務委員会

<2月>
17日 ○議会運営委員会
20日 ○議会運営委員会

議長・議員が出席した主な会合等

<12月>
24日 ○監査委員例月出納検査

<1月>
8日 ○三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
17日 ○三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会
23日 ○東京都三多摩地区消防運営協議会役員会
○東京都三多摩地区消防運営協議会第二部会
28日 ○監査委員例月出納検査
○三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会

<2月>
6日 ○市議会議員共済会代議員会
7日 ○東京都市議會議員研修会
14日 ○東京都市議會議長会理事会・定例総会
○昭和病院企業団議会第1回定例会
○第1回湖南衛生組合議会定例会
17日 ○小平・村山・大和衛生組合議会
2月定例会
19日 ○第1回東京たま広域資源循環組合議会
定例会
25日 ○監査委員例月出納検査

6月議会の予定

※通常の会議時間は午前9時30分～正午、午後1時30分～5時です。

	日	月	火	水	木	金	土
5 /25		26	27 正午/ 初日付託分 請願・陳情 受付締切	28	29 議会運営委 員会	30	31
6 /1	2	3	(休会)	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	(休会)	18	19	20	21
22	23	24	(休会)	25	26	27	28

※日程は5月29日に開催される議会運営委員会で正式決定されるため、変更する場合があります。

なお、日程を決定次第、市公式ホームページへの掲載及び公共施設への掲示を行います。

問い合わせ先 議会事務局
電話 042-563-2111 内線 2002
FAX 042-563-5926

市議会公式X（旧ツイッター）
では、本会議での各議員による
一般質問の日程情報を発信して
います。下記の二次元コードから
ご確認いただけます。
ぜひ、参考にしてくだ
さい。



3月議会での議案等の結果(初日議決分)

件名	会派名・会派人数						会派無所属			結果
	公	自	新	や	立	國	(※)	自	共	
	4	3	3	2	2	2		1	1	

市長提出案件 16件

東大和市土地開発公社の経営状況について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	報同可可可可可可可可可可可可可可可可
東大和市教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
東大和市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
専決処分の承認について（令和6年度東大和市一般会計補正予算（第5号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市における個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市職員の勤務時間・休日・休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市非常勤職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市地域包括支援センターの人員及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市都市公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第一分団消防ポンプ自動車の購入契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

（※）立憲国民クラブ 石田議員より、2月20日（初日）の本会議を欠席する旨の届出があったため、会派人数を2名としています。

3月議会での議案等の結果(2日目議決分)

件名	会派名・会派人数						会派無所属			結果
	公	自	新	や	立	國	(※)	自	共	
	4	3	3	3	2	2		1	1	

市長提出案件 4件

令和6年度東大和市一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
令和6年度東大和市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
令和6年度東大和市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
令和6年度東大和市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

3月議会での議案等の結果(最終日議決分)

件名	会派名・会派人数						会派無所属			結果
	公	自	新	や	立	國	(※)	自	共	
	4	3	3	3	2	2		1	1	

市長提出案件 9件

令和7年度東大和市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可
令和7年度東大和市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可
令和7年度東大和市介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可
令和7年度東大和市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可
令和7年度東大和市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可
令和7年度東大和市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
令和6年度東大和市一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市手話言語条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市地域公共交通協議会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

委員会提出案件 2件

東大和市議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○